

うべ プラスチック・スマート アクションプラン



Ube SDGs Plastics Smart action

令和2年(2020年)2月

宇部市

目 次

1	はじめに	1
2	第1 国の方針と取組	
	1 プラスチック資源循環戦略	2
	2 海洋プラスチックごみ対策アクションプラン	3
	3 プラスチック・スマートキャンペーン	4
3	第2 基本的な方針	
	1 排出抑制に向けた取組	5
	2 流出防止に向けた取組	5
	3 連携と協働	5
4	第3 アクションプラン	
	1 排出抑制に向けた取組	6
	2 流出防止に向けた取組	9
5	第4 アクションプランの推進	
	1 連携と協働	10
	2 実行期間	11
	3 目標	11

はじめに

平成 30 年 6 月に、SDGs 未来都市に選定された本市は、持続可能な社会の実現を目指してさまざまな取組を進めています。

その取組のひとつとして、世界規模で問題となっている海洋プラスチックごみの削減や使い捨てプラスチックを使用しない生活に向けた「うべSDGsプラスチック・スマート運動」の取組を進めています。

プラスチックは、軽量で耐久性にも優れ、加工もしやすいことから、さまざまな製品に利用されており、私たちの生活に欠かせないものとなっています。そのため、毎年、膨大な量のプラスチックが生産・消費され、ごみとして捨てられています。

意図的あるいは非意図的であっても、プラスチックが自然界に流失してしまうと、その耐久性ゆえに分解されにくく、河川を通じて海にたどり着き、海の環境や生態系に影響を与えることが懸念されています。

また、プラスチックは適正に分別することでリサイクル可能な素材ですが、金属やガラスなどの他の素材と比べると有効利用される割合は低い状況にあります。さらに、リサイクルせずに焼却した場合には、温室効果ガスが多く排出されるため、地球温暖化の要因の一つとなっています。

しかしながら、一方でプラスチックは、軽くて丈夫で、腐食に強いなどの特性を持ち、私たちの生活に多くの利便性と恩恵をもたらしている素材であるという側面もあります。この問題の解決に向けては、個人・企業・団体・行政などのあらゆる主体が、それぞれの立場でできる取組を行い、プラスチックと賢く付き合っていくことが重要であることから、「うべプラスチック・スマートアクションプラン」を策定し、一人ひとりがプラスチック問題を自分のこととしてとらえ、具体的な行動につなげていくように、オール宇部市でこの問題に取り組んでいきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS




第1 国の方針と取組

1 プラスチック資源循環戦略（令和元年5月31日）

第四次循環型社会形成推進基本計画を踏まえ、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化、アジア各国による廃棄物の輸入規制等の幅広い課題に対応するため、3R+Renewable（再生可能資源への代替）を基本原則としたプラスチックの資源循環を総合的に推進するための戦略を「プラスチック資源循環戦略」として策定されたものです。

【概要】

実効的な①プラスチックの資源循環、②海洋プラスチック対策、③国際展開、④基盤整備の4点を重点戦略として掲げ、これらの戦略的展開を通じて、我が国のみならず、世界の資源・廃棄物制約、海洋プラスチック問題、気候変動等の課題解決に寄与することに加え、動静脈にわたる幅広い資源循環作業の発展を通じた経済成長や雇用創出を見込み、持続可能な発展に貢献することとしています。



プラスチック資源循環戦略（概要）

令和元年5月31日

背景	基本原則：「3R+Renewable」		【マイルストーン】
<ul style="list-style-type: none"> ◆廃プラスチック有効利用率の低さ、海洋プラスチック等による環境汚染が世界的課題 ◆我が国は国内で適正処理・3Rを率先し、国際貢献も実施。一方、世界で2番目の1人当たりの容器包装廃棄量、アジア各国での輸入規制等の課題 	<ul style="list-style-type: none"> リデュース等 <ul style="list-style-type: none"> ▶ワンウェイプラスチックの使用削減(レジ袋有料化義務化等の「価値づけ」) ▶石油由来プラスチック代替品開発・利用の促進 リサイクル <ul style="list-style-type: none"> ▶プラスチック資源の分かりやすく効果的な分別回収・リサイクル ▶漁具等の陸域回収徹底 ▶連携協働と全体最適化による費用最小化・資源有効利用率の最大化 ▶アジア禁輸措置を受けた国内資源循環体制の構築 ▶イノベーション促進型の公正・最適なリサイクルシステム 再生材 バイオプラ <ul style="list-style-type: none"> ▶利用ポテンシャル向上（技術革新・インフラ整備支援） ▶需要喚起策（政府率先調達（グリーン購入）、利用インセンティブ措置等） ▶循環利用のための化学物質含有情報の取扱い ▶可燃ごみ指定袋などへのバイオマスプラスチック使用 ▶バイオプラ導入ロードマップ・静脈システム管理との一体導入 	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><リデュース></p> <p>①2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%排出抑制</p> <p><リユース・リサイクル></p> <p>②2025年までにリユース・リサイクル可能なデザインに</p> <p>③2030年までに容器包装の6割をリユース・リサイクル</p> <p>④2035年までに使用済プラスチックを100%リユース・リサイクル等により、有効利用</p> <p><再生利用・バイオマスプラスチック></p> <p>⑤2030年までに再生利用を倍増</p> <p>⑥2030年までにバイオマスプラスチックを約200万トン導入</p> </div>	
<p>海洋プラスチック対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶プラスチックごみの流出による海洋汚染が生じないこと（海洋プラスチックゼロエミッション）を目指した ▶ポイ捨て・不法投棄撲滅・適正処理 ▶海岸漂着物等の回収処理 ▶海洋ごみ実態把握(モニタリング手法の高度化) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶マイクロプラスチック流出抑制対策(2020年までにスクラップ製品のマイクロビーズ削減徹底等) ▶代替イノベーションの推進 		
<p>国際展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶途上国における実効性のある対策支援（我が国のソフト・ハードインフラ、技術等をオーダーメイドパッケージ輸出で国際協力・ビジネス展開） ▶地球規模のモニタリング・研究ネットワークの構築（海洋プラスチック分布、生態影響等の研究、モニタリング手法の標準化等） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶資源循環関連産業の振興 		
<p>基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶社会システム確立（ソフト・ハードのリサイクルインフラ整備・サプライチェーン構築） ▶技術開発（再生可能資源によるプラ代替、革新的リサイクル技術、消費者のライフスタイルのイノベーション） ▶調査研究（マイクロプラスチックの使用実態、影響、流出状況、流出抑制対策） ▶連携協働（各主体が一つの旗印の下取組を進める「プラスチック・スマート」の展開） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶情報基盤（ESG投資、エシカル消費） ▶海外展開基盤 		
<p>◆アジア太平洋地域をはじめ世界全体の資源・環境問題の解決のみならず、経済成長や雇用創出 ⇒ 持続可能な発展に貢献</p> <p>◆国民各界各層との連携協働を通じて、マイルストーンの達成を目指すことで、必要な投資やイノベーション（技術・消費者のライフスタイル）を促進</p>			

出典：環境省HP

2 海洋プラスチックごみ対策アクションプラン（令和元年 5 月 31 日）

海洋プラスチックごみ問題については、地球規模での環境汚染が国際的にも懸念されており、令和元年6月のG20に向けて、議長国として日本の率先的な姿勢を示し、G20における議論をリードするため、日本としての具体的な取組を「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」として策定されたものです。

【概要】

海洋プラスチックごみ対策も成長の誘因であり、経済活動の制約ではなくイノベーションが求められているという考えの下、プラスチックを有効利用することを前提としつつ、新たな汚染を生み出さない世界の実現を目指し、以下のような取組を徹底していくとされています。

- 1 まず、廃棄物処理制度によるプラスチックごみの回収・適正処理をこれまで以上に徹底するとともに、ポイ捨て・不法投棄及び非意図的な海洋流出の防止を進める。
- 2 それでもなお環境中に排出されたごみについては、まず陸域での回収に取り組む。さらに、一旦海洋に流出したプラスチックごみについても回収に取り組む。
- 3 また、海洋流出しても影響の少ない素材（海洋生分解性プラスチック、紙等）の開発やこうした素材への転換など、イノベーションを促進していく。
- 4 さらに、我が国の廃棄物の適正処理等に関する知見・経験・技術等を活かし、途上国等における海洋プラスチックごみの効果的な流出防止に貢献していく。
- 5 世界的に海洋プラスチック対策を進めていくための基盤となるものとして、海洋プラスチックごみの実態把握や科学的知見の充実にも取り組む。

海洋プラスチック問題の現状（概要）

1. 海岸での漂着ごみの事例



山形県酒田市飛島



長崎県対馬市

2. 漂着物の例



漁具



ポリタンク



洗剤容器

3. 想定される被害

- ・生態系を含めた海洋環境への影響
- ・船舶航行への障害
- ・観光・漁業への影響
- ・沿岸域居住環境への影響

⇒近年、海洋中のマイクロプラスチック（※）が生態系に及ぼす影響が懸念されている。

※サイズが5mm以下の微細なプラスチックごみ



海洋生物への影響



陸の豊かさとは？

出典：タイ天然資源環境省



マイクロビーズ



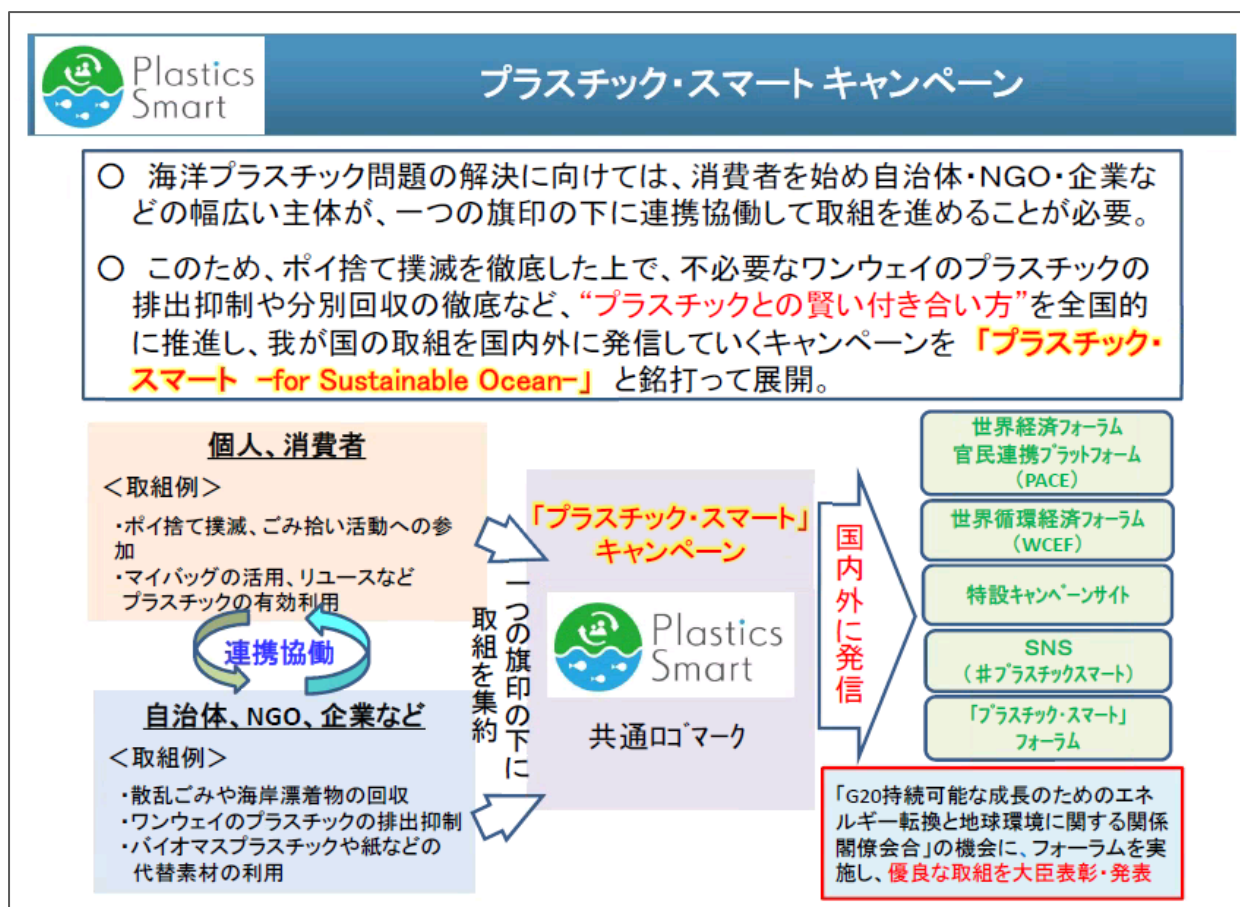
微細なプラスチック片

出典：環境省資料

3 プラスチック・スマートキャンペーン

世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関等の幅広い主体が連携協働して取組を進めていくことが必要です。

そのため、環境省では、「プラスチック・スマート -for Sustainable Ocean-」と銘打ったキャンペーンを実施しています。このキャンペーンでは、幅広い主体の取組を募集・集約し、ポイ捨て撲滅を徹底した上で、 unnecessary ワンウェイのプラスチックの排出抑制や分別回収の徹底などの"プラスチックとの賢い付き合い方"を全国的に推進し、我が国の取組を国内外に発信しています。



出典：環境省HP

第2 基本的な方針

プラスチック問題の解決に向けて、排出抑制、流出防止、連携・協働の三つを大きな柱として取組を進め、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現を目指します。

また、取組に当たっては、規制的に行うのではなく、市民に対しては、環境にやさしいライフスタイルの提案などにより自主的な行動変容を促すとともに、事業者においても、社会貢献と併せて新商品の開発などのビジネスチャンスにもつなげていきます。

1 排出抑制に向けた取組

使い捨てプラスチック製品の利用削減を推進するとともに、使用済プラスチック資源の分別とリサイクルを徹底します。また、プラスチック製品を利用するときは、可能な限り長く使うことを推進するとともに、代替素材製品の利用促進に取り組んでいきます。

2 流出防止に向けた取組

本市は瀬戸内海に面し、厚東川をはじめとするたくさんの河川が流れていることから、ポイ捨ての撲滅や清掃活動を推進し、プラスチックごみの海域への流出防止に取り組んでいきます。

3 連携と協働

「世界一灰が降る街」と報じられた甚大な大気汚染を、産・官・学・民の連携により克服した「宇部方式」の理念のもと、多様な主体と連携・協働しながら、市民意識の変革やプラスチックフリーな社会の実現に向けたイノベーションの促進に取り組んでいきます。



第3 アクションプラン

1 排出抑制に向けた取組

(1) 使い捨てプラスチックの使用抑制

① プラスチックごみを出さない消費行動の促進

店頭やイベント等における啓発活動と環境教育や消費者教育を通して、買い物へのマイバッグ持参や、ばら売り・量り売りの商品を購入するなどの使い捨てプラスチックの使用抑制に向けた消費行動を促進していきます。【市・事業者】

② 事業者による簡易包装・代替素材利用の促進

事業者によるプラスチックの過剰包装の見直しや代替素材への転換などを推進するとともに、積極的に取り組んでいる事業所を簡易包装推進協力店に認定し、販売サイドからのプラスチックの使用抑制を促進していきます。【市・事業者】

③ マイバッグ運動の推進

レジ袋の利用削減を進めるため、事業者、関係団体等と連携・協力して、マイバッグ運動を推進していきます。【市・事業者・関係団体】

④ 脱ペットボトルの推進

公共施設に設置してある自動販売機のペットボトル飲料を缶やビンの容器飲料に切り替えていきます。【市】

⑤ マイボトル運動の推進

ペットボトルの利用削減を進めるため、関係団体等と連携・協力して、マイボトル運動を推進していきます。【市・関係団体】



マイバッグキャンペーン



商業施設でのパネル展示

⑥ 給水スポットの設置

公共施設等に、誰もが冷たい水を飲むことができ、マイボトルに給水ができる給水スポットを整備し、給水場所についての情報発信を行います。【市・事業者】

⑦ リユース食器等の利用促進

市内で開催されるイベント等において、リユース食器や食べられる素材で作られた食器などを利用した場合に、その費用の一部を助成することにより、使い捨て食器の利用抑制を図っていきます。【市】

(2) リユース・リサイクルの促進

① 子育てグッズ等のリユース促進

家庭で不用になった子ども服や子育てグッズ等を回収し、イベント等で無償譲渡することで、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、プラスチックごみの排出抑制を図っていきます。【市】

② リユース食器の利用促進

市内で開催するイベント等において、リユース食器を利用した場合に、その費用の一部を助成することにより、その利用を促進していきます。【市】

③ リユース情報等の発信

市内で開催される市民団体・NPO等が開催するフリーマーケット等の情報や民間事業者によるSNS等を活用したリユースシステムの情報を市のホームページで紹介し、リユースを促進していきます。【市】



子育てグッズのリユース

④ プラスチックごみの分別の徹底

ごみ減量推進員等による指導・啓発や自治会等のごみ分別説明会における啓発などを通して、プラスチック製容器包装の分別の徹底を図り、リサイクルを促進していきます。【市・関係団体】

⑤ 搬入ごみの監視体制の強化

ごみ処理施設の搬入時の監視体制を強化し、不適正分別のごみの搬入抑制を図ることで、分別を徹底し、リサイクルを促進していきます。【市】

⑥ 再生プラスチックの優先利用

グリーン購入により、再生プラスチック製品の購入促進を図っていきます。【市】

(3) イノベーション促進に向けた取組、代替素材の利用促進

① イノベーションの促進

本市の地域資源を活用したプラスチックの代替素材やプラスチックフリーな製品・サービスの開発のほか、プラスチックの更なる循環利用などのイノベーションを促進していきます。【市・事業者】

② バイオマスプラスチックの導入促進

可燃ごみのボランティア袋など、焼却をせざるを得ない製品について、カーボンニュートラルである生物由来のバイオマスプラスチック製のものに変更し、その導入を促進していきます。

また、可燃ごみの指定ごみ袋等についても、代替素材や再生素材の導入を検討していきます。【市】

③ 代替素材製品の利用促進

店頭やイベント等における啓発活動に、竹や紙などの代替素材を使用した製品を展示・紹介することで、その利用を促進していきます。

また、市内で開催するイベント等において、食べられる食器を利用した場合に、その費用の一部を助成することにより、利用促進を図っていきます。【市】

2 流出防止に向けた取組

(1) ポイ捨て等の防止

① 啓発活動の実施

ポイ捨ての防止に向けて、関係団体等と連携して、イベント等における啓発活動や巡視活動を実施し、環境美化を推進していきます。

【市・関係団体】

② 不法投棄対策

定期的な監視パトロールを行うとともに、山口県宇部健康福祉センターや警察等と連携して、不法投棄の監視の目を強化し、不法投棄を防止します。【市・県・警察】

(2) プラスチックごみの回収

① 道路、河川等の清掃活動の推進

全市一斉の「マナー&クリーンアップ・アクション」の取組など、各種団体や事業者、地域住民による道路、河川などの清掃活動の取組をより一層推進し、ポイ捨てされたごみを回収することで、海洋流出を防止します。【市・事業者・関係団体・市民】

② 海岸清掃活動の推進

リフレッシュ瀬戸内の取組など、各種団体や事業者、市民の皆さんと連携して、海岸の漂着ごみの回収を推進し、瀬戸内海を守ります。

【市・事業者・関係団体・市民】



リフレッシュ瀬戸内の活動

第4 アクションプランの推進

1 連携と協働

(1) 啓発活動の推進

関係団体や事業者と連携・協働しながら、6 R運動の普及などプラスチックの排出抑制と流出防止に向けた啓発活動に取り組んでいきます。

【市・事業者・関係団体】

6 R運動の取組

- ・リデュース (Reduce) …マイバック・マイボトル等を携行する。
- ・リユース (Reuse) …プラスチック容器等を繰り返し利用する。
- ・リサイクル (Recycle) …プラスチックごみの分別、リサイクルを推進する。
- ・リフューズ (Refuse) …レジ袋、使い捨てスプーン等を断る。
- ・リターン (Return) …プラスチックごみを持ち帰る。
- ・リカバー (Recover) …清掃活動に参加する。

(2) 環境美化活動の推進

市民の皆さんや各種団体、事業者と連携・協働しながら、道路、河川、海岸等の清掃活動に取り組んでいきます。【市・事業者・関係団体・市民】

(3) シンポジウム等の開催

関係団体等と連携して、市民の皆さんと一緒にプラスチック問題について考えるシンポジウムを開催し、プラスチックフリーなライフスタイルへの意識変革を促進していきます。【市・関係団体・市民】

(4) 脱プラスチック生活のアイデアの募集と共有

プラスチックを使わないライフスタイルやビジネスモデルのアイデアを募集し、効果的なアイデアについては、ホームページ等で情報発信やその事業化を支援することで、市民の皆さんと一緒に脱プラスチックに向けた地域づくりを推進していきます。【市・市民】

(5) パートナー事業所の募集

プラスチックの利用削減の取組に賛同する事業所をパートナー事業所に認定し、ネットワーク化を図ることで、連携・協働しながら脱プラスチックに向けた地域づくりを推進していきます。【市・事業者】

(6) 海洋プラスチック対策促進のための国際環境協力

途上国等の研修生を受け入れ、分別・収集システムを含む廃棄物管理・3Rの推進等について研修を行うことで、途上国等における海洋プラスチックごみの流出防止対策に貢献します。【市】

2 実行期間

SDGsの目標達成に向けて、2019年度から2030年度までを実行期間とします。

また、社会情勢の変化や技術の進展を踏まえて、必要に応じて見直しを行うものとします。

3 目標

国のプラスチック資源循環戦略に掲げられている指標を踏まえて、次の目標を設定し、毎年その進捗を把握します。

使い捨てプラスチックごみ※を2030年度に2019年度比で25%削減

※市のごみ処理施設におけるペットボトル及びプラスチック製容器包装の搬入量